

— 成果発表会 —

麦類で増加する黒節病などの種子伝染性病害を防ぐ総合管理技術の開発

農林水産業・食品産業科学技術研究推進事業—課題番号 25063C

小麦や大麦はパンやビールなど国民の生活においてなくてはならない食物の原料であり、地産地消の促進や地域ブランドのうどんやケーキの販売など、地域経済に対する重要性も増えています。その一方で、黒節病等の種子伝染性病害の増加により、生産物の減収や品質低下の問題が発生しています。特に黒節病は登録薬剤が無く、採種圃場での発生増加が重大な問題となっています。本課題では黒節病に対する種子消毒法や圃場管理技術を開発し、これらを組み合わせた総合防除体系の構築を行いました。その研究成果をご紹介します。

○主催 農食事業 25063C コンソーシアム（総括機関：農業・食品産業技術総合研究機構中央農業総合研究センター）

○日時 2016年1月22日（金）13:00-17:00

○場所 農林水産技術会議事務局 筑波産学連携支援センター（URL：<http://sto.affrc.go.jp/>）

3階 展示会議室

○参集範囲 農業生産者、農業団体、試験研究機関、大学、行政機関、報道関係者など

○参加費及び申込み：無料（定員 100 名）、当日参加も可能ですが、できるだけ事前の参加申込みをお願い致します。参加希望の方は、下記事務局まで氏名、所属を記載してメールで申込みください。

※発表会終了後、情報交換会を行う予定です（18:00-20:00、会費 5000 円）。情報交換会に参加希望の方は1月14日（木）までにご連絡ください。

プログラム

12:30- 受付

13:00-13:10 挨拶

13:10-13:30 黒節病の病原とムギ品種の罹病性 中央農業総合研究センター 井上康宏

13:30-13:50 黒節病菌の圃場内伝播と耕種的防除 山口県農林総合技術センター 吉岡陸人

13:50-14:10 遅播きによる発病抑制効果 埼玉県農業技術研究センター 酒井和彦

14:10-14:30 黒節病に対する効果的な種子消毒技術の確立 香川県農業試験場 森 充隆

14:30-14:50 黒節病に対する薬剤防除 茨城県農業総合センター農業研究所 島田 峻

14:50-15:00 糸状菌による種子伝染性病害の防除 茨城県農業総合センター農業研究所 島田 峻

15:00-15:20 休憩

15:20-16:20 地域に適合した黒節病の総合防除技術研究事例

1) 東日本における総合防除技術研究事例 埼玉県農業技術研究センター 酒井和彦

2) 中日本における総合防除技術研究事例 三重県農業研究所 田畑茂樹

3) 西日本における総合防除技術研究事例 香川県農業試験場 河田和利

16:20-16:40 収穫種子の黒節病菌保菌率の調査方法 三重県農業研究所 橋爪不二夫

16:40-17:00 総合討論

17:00 閉会

○問い合わせ先（事務局）

（国研）農業・食品産業技術総合研究機構 中央農業総合研究センター 病害虫研究領域 井上康宏

電話：029-838-8931 メール：cbpd-kurofushi@naro.affrc.go.jp